

リュウキュウマツ

がくめい
学名 *Pinus lichuensis*

かめい
科名 マツ

べつめい
別名 リュウキュウアカマツ、
オキナワマツ



くぶん
区分 木本類

ぶんぶ
分布 鹿児島 (トカラ列島以南)、沖縄

はかたち
葉の形 線形

はふち
葉の縁

はさき
葉の先

はしゅるい
葉の種類 2束生

はつきかた
葉の付方

はきぶ
葉の基部

みしゅるい
実の種類 球果

はながくいろ
花・萼色
赤紫色 (雌花)
おうはくしよく
黄白色 (雄花)

せいめい
説明 海岸から山地に生育し、高いもので約25mにもなる常緑の高木です。葉は針のように堅くて細く尖り、短い枝に2本束ねた状態でついており、長さ10-20cm、幅約1.2mmです。雄花は黄白色、楕円形で長さ14-20mmです。雌花は赤紫色、卵形で長さ3mmです。実は球果で翌々年の秋に熟し、卵状円筒形で長さ3.5-6.5cm、幅2-2.5cmです。